

# がんばろう！東北

つなげよう！  
まもろう！ あおもりのかわとみち



## 青森河川国道ニュース



ご意見は  
こちらまで

お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38  
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577

平成26年12月25日(木) 第240号



### 魚がすみやすい川づくり ～第3回岩木川魚がすみやすい川づくり検討委員会～



▲委員会の様子

平成26年12月18日(木)、青森河川国道事務所において、「第3回岩木川魚がすみやすい川づくり検討委員会」を開催しました。

本委員会は、岩木川における魚類の生息環境の改善を図るため、瀬・淵および産卵床の再生等について、学識経験者や漁業関係者、関係行政機関による専門的な見地からの審議・助言をいただき、川本来の生態系の機能回復を目指していくために、設立されたものです。

岩木川では、弘前市上水道取水堰の下流砂州の拡大などにより、流路から堰に設置されている魚道への連続性が失われています。また岩木川上流域では、魚類の産卵床を形成する生息環境として重要な瀬と淵が減少しています。

こうしたことから、当事務所では、川の連続性を確保するとともに、魚類等の生息環境の向上を図り、魚のすみやすい川づくりをめざした検討を進めており、今後の進め方について、助言をいただこうと、委員会を開催しました。

弘前市上水道取水堰周辺における遡上環境の改善策については、事務局が提示した魚道の前面にあるブロックを撤去するとともに、魚道入り口部分の落差を解消を図る方針が、了承されました。今後は、堰を管理する弘前市と協議を進めてまいります。

また、アユの産卵床を含む瀬・淵の再生・保全対策については、前回の委員会で対策を行う箇所について検討を進めることとされました。これを受け、当事務所が調査・検討を進めた結果、産卵床になりうる早瀬の5箇所において、砂州の切り下げにより砂礫砂州を再生させる対策や、川床を洗うソフト対策を行うことについて、今回の委員会に提示し、了承されました。

今後も、委員会の助言をいただきながら、魚がすみやすい川づくりを進めてまいります。

